

第2号様式（第3関係）

第5回豊山町中学校施設整備基本構想会議議事録

- 1 開催日時 令和3年11月24日（水） 午後1時30分～
- 2 開催場所 豊山町役場 2階 会議室1
- 3 出席者

名古屋市立大学芸術工学研究科 教授	鈴木 賢 一	（会長）
愛知工業大学工学部 教授	鈴木 森 晶	（副会長）
中部大学人間力創成総合教育センター 教授	武者 一 弘	
社会福祉法人豊山町社会福祉協議会 会長	池 山 和 徳	
豊山中学校 校長	篠 田 弘 男	
豊山町議会 議長	水 野 晃	
豊山中学校PTA 顧問	小 川 晃 永	
事務局		
教育長	北 川 昌 宏	
教育委員会事務局長	安 藤 憲 司	
教育委員会事務局学校教育課長	井 戸 茂 治	
教育委員会事務局学校教育課学校教育係長	菊 地 智 行	
教育委員会事務局学校教育課学校教育係主任	安 藤 幸 雄	
産業建設部参事	大 見 明 弘	
産業建設部建設課土木・農政係主事	上 田 卓	
阪急コンストラクション・マネジメント株式会社		
名古屋事務所 営業部部長兼名古屋事務所副所長	杉 田 昌 彦	
東京本店 CM部 チーフマネジャー	佐 藤 学	
名古屋事務所 CM部 チーフマネジャー	山 口 友 香 理	
- 4 欠席者

愛知教育大学教育学部 教授	風 岡 治	
愛知学泉大学家政学部 教授	前 田 治	

5 傍聴者

坪 井 孝 仁

作 野 桂 子

古 谷 博 子

6 議題

(1) 意見聴取結果について

(2) 目指すべき中学校のあり方について－中間まとめに向けて（案）－

7 会議資料

(資料1) 豊山中学校改築に係る意見聴取結果一覧

(資料2) 目指すべき中学校のあり方について－中間まとめに向けて－(案)

8 議事内容

(1) 連絡事項等

教育長：これまでに委員や生徒、保護者、学校関係の方から多くのご意見をいただきました。これまでの意見を踏まえ、5つの項目ごとに豊山町の考えを加えて整理させていただいたので提示させていただく。また、建設候補地について、先に場所を決めて議論を行ってはどうかと意見もあったが、先に決めた土地に収まるように中学校を作るのではなく、先ずは目指すべき中学校の姿について議論したいという趣旨で進めさせていただいた。今後は先進事例や統計データ、住民のご意見も加えて中間まとめと最終まとめに向けて議論を進めていくのでよろしく願います。

(2) 議題

【(1) 意見聴取結果について】

事務局：5者からの各関係者からの意見聴取結果について、エリアごとに総括を記載して取りまとめたので説明する。

資料説明（資料1を参照）

会長：意見聴取結果を踏まえて、お気づきの点やご意見はあるか。

副会長：教室エリア総括欄に、1階の安全な施設配置が重要と記載があるが、動線を分けるという意味を含んだ方が良い。開放する場所とそうでない場所を分けるという内容の方が良いと思う。

事務局：目指すべき姿にて動線分離について記載する。

委員：3ページその他学習関係エリアについて、相談室は、現地を見学した際にいろんな場所にあり配慮されていると思っていたが、実際は兼用しているなどあまり使えていないようである。空間を用意するだけでなく、実際に使える部屋とすることが大事だと思った。

委員：カウンセラー室は武道場横にあり、カウンセラーは週2回来訪している。独立していて良い場合と共用していた方が良い場合がある。プライバシーに配慮も必要であるが、部屋の有効活用を考えると多用途で使えると良い。完全に使わない日もあるので、必ずしも独立にしなくても良いと思う。保健室の近くにあると良いとも思う。

会長：相談室はデリケートな部屋である。専用の部屋が良いケースと、生徒にとってはその部屋に入ること自体が見られることが嫌なため、なんでもない場所で話した方が良いケースがある。専用と兼用については、設計段階で検討する必要がある。

副会長：相談していることを知られたくない生徒もいる。場所を一か所に決めてしまうとそのエリアに立ち入ったことで相談していることを知られてしまうおそれがある。準備室や図書室などでも行えるようにフレキシブルな使い方ができると良い。

会長：体育館の観覧席への評判が良いようである。観覧席が無い体育館もあるので、新しい体育館には無いとがっかりされるかもしれない。

委員：立派な観覧席があり、コロナ対策として1学年をフロアと観覧席で分けることもできるため、良い施設だと思っている。

会長：什器・備品について、机の大きさやIT関係については、今は変革期であるため苦労されているかと思う。

副会長：タブレットの普及により、モニターの設置は確実に必要である。数を増やし、2台設置が良い。生徒のタブレット画面表示用と教員のタブレット画面表示用にするなど、設置台数を増やすべきだと考える。総括にも記載すべきだと思う。

委員：先生の負担増への心配の一方で、地域開放は地域毎にあるので無くても構わないという意見もある。町民の地域開放への熱量が不明である。関係団体から中学校へ地域開放を求める声や、稼働状況はどの程度か教えてほしい。

事務局：後日改めて提示する。

委員：現況ではそのような意見があるかもしれないが、地域コミュニティとの交わりがかくあるべきと唱える中で、現在の意見だけを聞いてこれだけでいいと思うだけではいけない。地域コミュニティについて将来のビジョンを提示し、地域の人との交わりが重要であるというメッセージを発した方が良いと思う。現状だけを見て、この程度でいいではないかという意見には納得できない。

委員：意見聴取から、スポーツについてあまり使われていないように見られるので、実際の稼働状況はどうか知りたい。データなどがあると良い。

会長：豊山町に中学校は1校だけであるため、豊山中学校のスタンスをどう捉えるか考えなければならない。

委員：スポーツで使用する場合に、小中学校と他の公共施設では利用料に差があるため、小中学校を利用したいという意見は多くある。その利用料の差の影響も大きいと思う。

委員：新しい豊山中学校の建設に関して、保護者から学校移転や改修についての意見が無いが、実際はどうだったのか。

事務局：保護者より意見聴取を行ったが、学校の建設地に関する意見は無かった。

委員：志水地区の人がいたら意見を言われたと思う。保護者の意見はこれだけでよいのか。もう少し突き詰めてほしい。

会長：限定された人の中での意見だが、一方で貴重な意見でもあるので、現地建替か移転かについても考えていかなければならない。今回の意見は貴重なデータであるため、これはこれとして取り扱う。

【(2) 目指すべき中学校のあり方について—中間まとめに向けて(案)一】

会長：次の議題であるが、これまでの委員の意見を踏まえて中間まとめ案を作っていた。事務局より説明をお願いする。

事務局：資料2について、これまでの構想会議で議論を重ねた意見及び関係者からの意見聴取を踏まえ、5項目の検討協議課題において教育委員会の考え方を追加した内容である。

資料説明(資料2 1頁、教育環境の質的向上を参照)

委員：計画においての基本項目内に「充実した職員室を整備する」とあるが抽象的である。「創造的な空間・先進的な職員室」と表現した方が良い。

また、計画においての基本項目を見ると、今までと何も変わらない従来型と同じように感じ取れる。このレベルでは学びの多様化に対応できず、これから先の50年を考えた際に不十分である。

余裕教室と記載があるがどういう教室のことか。

教育長：余裕教室とは空き教室のことである。学級数や学習内容に応じて、少人数教育や多目的な使用に活用でき、多様な学びに対応できるようにする。

委員：記載された内容だけ読むと、教室があり、廊下がある閉ざされた空間のイメージしか得られなかったため残念である。

会長：「充実した」という表現は検討していただきたい。

教育長：様々な課題があり、充実という言葉で括ってあるが、委員がおっしゃる創造的・先進的などという表現について、今後文科省の通知や先進的な事例を基に検討していきたい。

委員：生徒と同意見で、職員室に前室などワンクッションあると良い。「充実した」という表現でも良いのかもしれないが、この会議でそういった指摘や議論があったことは記録に残し、設計時に立ち戻って考えられるようにすべきと思う。

会長：生徒と職員が交わる空間がある事例は、今までなかったと思う。

「働きやすい」という表現は、文科省も使っているが、アベレージに戻すということではない。もう一步踏み込んで、先進性とかクリエイティブとかそういうことを目指さないと、将来を語れないのではないか。そのような言葉を使用することで、設計者の目を引くことになるかもしれない。次に2. 快適な学習生活空間・環境への配慮について説明をお願いします。

事務局：資料説明（資料2 2頁、快適な学習生活空間・環境への配慮を参照）

委員：学校建築について、50年経っても思い出に残る造形であってほしい。特に正門については、どこかに触れてほしい。

更なる検討項目（基本構想・基本計画段階）の中で、エコスクールやZEB化については、ロビーにベンチを設置するという項目よりも先に出てくるべきではないか。

また、学校施設改築・長寿命化計画策定当時より現在で変わっている点として、「脱炭素化」がある。個人の意識も大事であるため、生徒の時から馴染んでいくことも大切であることから、脱炭素化社会の実現について記載してほしい。

さらに、エコスクールやZEB化などの環境については「検討する」という弱い表現であるため、もっと強い表現としてほしい。

教育長：ロビーにベンチを設置するというあまりに具体的な内容でいけなかったかもしれないが、快適な学習生活空間を整備したいという思いがあり記載した。

エコスクールやZEB化については、既に文科省の中間報告などでも取り上げられており、検討は必要であると考えている。赤枠の「更なる検討項目」については、消極的な内容ではなく、今後さらに検討して実現していきたいという意味である。

会長：普通教室は南向き配置とあるが、場合によっては東向きや北向きの事例もあるため、必ずしも南である必要はない。自然光や風を取り入れられる設計になっていればよい。設計者の創造性を引き出すには、自由度を持たせた方がよいと思う。

続いて、3. 地域コミュニティの拠点形成について説明をお願いします。

事務局：資料説明（資料3 3頁、地域コミュニティの拠点形成を参照）

委員：コミュニティスクールについては、地域と共存していく足がかりになるとよい。これからの検討項目として、管理については、地域と一緒に運営していくことを考えていく必要がある。

会長：地域活動室やボランティアルームなどの町民スペースを、学校側で管理することは大変な負担になる。地域と学校が共同で運営、又は地域が主体となって運営できる組織づくりも考えなければならないだろう。町民の中にも手伝っても良いという人もいると思うため、学校と町民と一緒に地域を盛り上げていける組織ができれば理想的である。地域で使えるスペースだけを用意しても、急には上手く使えないとも思う。また、セキュリティについては、設計段階に対応していければいいと思う。

地域開放については、どの程度地域の需要があるか教えてもらい、中学校で行うのが効果的なものと他の施設でも可能なものを判断した方がよい。

続いて、4. 安全安心な施設環境の確保について説明をお願いします。

事務局：資料説明（資料4 4頁、安全安心な施設環境の確保を参照）

副会長：4頁の必要保有水平「体力」について、字誤りのため「耐力」に修正。

続いて、5. 財政負担を軽減する効率的な施設整備・運営について説明をお願いします。

事務局：資料説明（資料5 5頁、財政負担を軽減する効率的な施設整備・運営を参照）

委員：脱炭素社会や環境に関する補助金もあると思われるため、情報収集を行い、上手く活用してほしい。

教育長：補助金については情報収集を行う。また、委員の皆様からも何か情報があれば教えていただきたい。

会長：財政負担軽減のため、事業手法についてPFIなどの民間活力を利用することもあるが、学校施設ではあまり採用されていない。ただし検討は行うべきと思う。移転か現在地かでどんな条件があるか、後にどんなメンテナンスが生じるかを想定し、どの程度の財政負担が生じるか検討してほしい。これで議題は終了とさせていただく。他に何かご意見は。

委員：要件が固まりつつあるので、新しい中学校のイメージが分かるようなコンセプトのたたき台を作成してほしい。

また、そろそろ町有地から、中学校の建設候補地を提示してほしい。

教育長：どういう中学校が豊山町や子どもたちにとって一番有益であるかについて議論してほしいという思いがあり、建設地については一先ず置いておき、目指すべき中学校の姿について議論を行っていただいた。今後、財政面を考慮しながら候補地を示していきたい。ただし、財政的にも時間的にも新しい敷地を購入することは現実的ではない。現にある町有地か現地かで適

地を探したい。町にはこんな土地があるということをお示しさせていただき、議論を進めさせていただきたい。まだ先の長い議論になると思うが、よろしく願います。

会長：本日委員から挙げた意見を元に、資料の修正を行うこと。また、他に意見がある場合は、個別に事務局へ連絡を行うこと。

9 その他

次回の構想会議日程

12月24日、27日、28日のいずれかを予定する。

上記のとおり第5回豊山町中学校施設整備基本構想会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

令和3年12月10日

会 長 鈴 木 賢 一

署名人 武 者 一 弘